

# 一 懇 談 内 容 一 平成 29 年度

## < 第 1 分科会 >

### ◆ 「学校現場の実態から見た “効果的な食育” について」

衣食住の一角を担い、貧困問題や学校給食問題でもキーワードとなる“食”について、改めて見つめ直します。食生活の乱れからくる心身に対する諸問題を再確認し、保護者と学校で共同しながら、成長期の子どもたちに対してどのような取り組みができるか、効果的な食育とは何かを検討します。

## < 第 2 分科会 >

### ◆ 「キャリア教育における “社会を生き抜く力” について」

長野県の未成年の自殺率が全国で最も高いという深刻な問題を抱えているなか、次期学習指導要領にも謳われている「社会を生き抜く力」として、今後、子どもたちにどのような力が必要となるか、それを養うためにはどのような取り組みが必要か検討します。

## < 第 3 分科会 >

### ◆ 「少子化時代の P T A 組織 “信州モデル” について」

児童生徒の減少による学校の統廃合や学級数の減少に伴い、P T A 活動の見直しや事業縮小に追い込まれていく現状のなか、長野県の特徴を活かしながら、P T A 組織にとって最も大切なことは何かご意見を頂戴したいと思います。また、昨今の P T A 不要論の逆説で「もし、P T A 組織がなくなった場合、学校で、家庭で、どのような事態が発生するか？」についても、事例を挙げてご意見を伺いたいと存じます。